

地域活動報告



横浜

港南ひまわりリンピック

横浜市港南区青少年指導員協議会 穂永 進

3月16日土曜日、港南ふれあい公園にて「港南ひまわりリンピック2024」を開催しました。

当日は晴天にも恵まれ、約500名が参加し、10種のスポーツ競技・ゲームをスタンプラリー形式で回り楽しみました。バスケットなど普段親しんでいるスポーツのほかに「パラスポーツ」のボッチャやアキュラシー、モルックなど珍しいスポーツに初めて挑戦する子どもたちも笑顔いっぱいでした。

港南区では「小中学生のボランティア参加」を目標に掲げており、今回も青少年指導員80名に加え、9名の中学生在が参加してくれたおかげもあり、イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。



川崎

愛のパトロール活動

川崎市多摩区青少年指導員連絡協議会 会長 米山 文治

多摩区青少年指導員連絡協議会では、「地域の青少年は、地域で守る」という視点から青少年の健全育成・非行防止を目的として、愛のパトロール活動を重点的に行っています。今年度も、区内7地区に分かれて、月に数回、繁華街や祭礼、学校周辺等、各地域の実情に応じて、ルートや時間帯を工夫しながら「こんにちは」や「早く帰るんだよ」など、愛の一声をかけながらパトロールを実施しています。また、6月には区内7地区の青少年指導員が集まって合同パトロールを実施しました。向ヶ丘遊園駅周辺において啓発品を配布しながら声かけを行うとともに、定めたエリアを複数のルートに分かれて重点的にパトロールをしました。今後も引き続き、青少年が安全に、安心して生活できる環境づくり、地域社会全体で子どもを見守り、支えるしくみづくりに、微力ながら貢献できるよう活動していきます。





相模原

待ちに待った桜まつり

相模原市青少年指導委員連絡協議会 齊藤 一城

桜満開の4月、相模原市民桜まつりが、実に6年ぶりに開催されました。

久しぶりに開催された桜まつりは、快晴で見事に満開のタイミング！最高の舞台が整い、なんと53万人超と過去最高の来場者が訪れ、大盛況となりました。



創作コーナー

私たち青少年指導委員は、会場内のチビッ子広場にて「創作コーナー」「魚釣りゲーム」「バンブーダンス体験」を実施し、大勢の子どもたちに楽しんでもらいました。

いつもは地区ごとに活動している相模原の協議会メンバーは大きなイベントの時は全地区集合し、相模原ワンチームで取り組みます。



魚釣りゲーム



バンブーダンス

創作コーナーでは簡単に作れ、その場で遊べる工作を子どもたちに作ってもらいます。2本の竹を跨いで踊るバンブーダンスや、口先に金属クリップをつけた魚をマグネットの付いた竿で釣る魚釣りゲームは子どもたちの人気の的。

各コーナーとも大盛況で大忙しでしたが、子どもたちの笑顔のために全員が一丸となって頑張りました。



県央

青少年フェスティバルも36回目！

座間市青少年指導員協議会 石田 信一

座間市青少年指導員協議会(昭和43年発足)の構成員は、市内6校の中学校教諭各1名を含めた市民からなり、定員は50名となっています(各学校区で7名～9名)。

主な活動としては、毎年実施している青少年指導員研修会(野外部、文化部)や各地域で開催される交流事業や毎月のあいさつ運動等への参加で、メインは、10月から12月に市内の6中学校地区で開催する「青少年フェスティバル」ですが、今年で36回目を迎え、各中学校区域内で日頃ご協力をいただいている市民団体の方々や各中学校生徒の皆さんたちと実施しています。

イベント内容は「スリッパ飛ばし」「スマートボール」「紙飛行機飛ばし」「電撃イライラ棒」等、他にも多くの子どもたちが参加しやすいものを用意しており、中には昔の懐かしい「ベーゴマ」「コマ回し」等、現在では普段遊ばなくなったアナログ的な遊びもできると、近隣の市民も毎年楽しみにしているようで、特に「スマートボール」等では毎年親子対決が行われていましたが、子どもの成長と共に親の威厳が右下がり傾向のようです。果たして今回のフェスティバルではどんなドラマが展開されるのか楽しみです！

